

小規模企業共済資産 令和 7 年度上半期(令和7年4月～9月) の運用状況

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
令和 8 年 1 月

目次

運用全般について

<u>1. 運用の基本方針と基本ポートフォリオ</u>	2
<u>2. 運用利回りの推移</u>	3

各運用資産について

<u>3. 自家運用資産</u>	4
<u>4. 委託運用資産</u>	5

(注) 本資料の記載について

独立行政法人である中小機構では、法令などに基づき、共済契約者から払い込まれた掛金や共済契約者に対する共済金等の支払いに関する資金・運用管理を他の経理（共済制度の運営に必要な事務経費等の経理）と区分しており、この区分した経理を「小規模企業共済勘定 給付経理」といいます。本資料に掲載している数値は「小規模企業共済勘定 給付経理」に関するものになっています。

【運用全般】

1. 運用の基本方針と基本ポートフォリオ

「小規模企業共済資産運用の基本方針」において、中長期的な観点から将来にわたり共済契約者に共済金等の支払いを確実に行えるよう「安全かつ効率的な運用」を基本目標に、リターン・リスクの特性が異なる複数の資産に分散投資する資産構成の割合を定める「基本ポートフォリオ」(下表参照)を策定し、これに基づき運用しております。

基本ポートフォリオ

(令和4年5月改定)

(単位: %)

	自家運用(簿価)	委託運用(時価) : 23.4					合計
		国内株式	国内債券(時価)	外国株式	外国債券	ヘッジ外債	
資産配分	76.6	3.3	9.9	5.1	0.8	4.3	100.0
委託内資産配分	—	13.9	42.2	22.0	3.4	18.5	
許容乖離幅	±1.5	±4.8	±2.3	±5.4	±0.4	±1.0	

※自家運用の内訳は、国内債券(簿価)、短期資産、融資経理貸付金、生命保険資産。

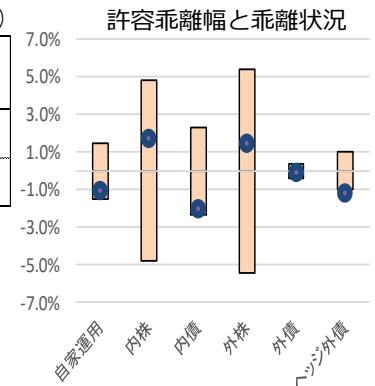
※委託資産の許容乖離幅は、委託運用を100とした場合の各資産の配分比率からの乖離幅。

期待収益率 1.27% 標準偏差 1.43%
1.59% (令和7年7月検証時) 1.46% (令和7年7月検証時)

令和7年度9月末
資産構成

	国内債券(簿価)	短期資産	融資経理貸付金	生命保険資産	委託運用(金額: 億円)					合計
					国内株式	国内債券(時価)	外国株式	外国債券	ヘッジ外債	
運用資産額	86,036	2,630	560	2,442	4,637	11,929	6,975	997	5,140	121,346
資産構成比	70.9%	2.2%	0.5%	2.0%	3.8%	9.8%	5.7%	0.8%	4.2%	100.0%
委託運用内各資産構成比率:					15.6%	40.2%	23.5%	3.4%	17.3%	
基本Pとの乖離	▲ 1.1%				1.7%	▲ 2.0%	1.5%	▲ 0.0%	▲ 1.2%	

合計金額 : 91,668億円 構成比率 : 75.5% 合計金額 : 29,678億円 構成比率 : 24.5% 令和6年度末比
(令和6年度末比: 425億円) (令和6年度末比: 1,726億円) 2,151 億円



(注) 令和7年9月末時点にて、ヘッジ外債の基本Pとの乖離(▲1.2%)が許容乖離幅(±1.0%)を超過したため、10月にリバランスを実施しております。

【運用全般】

2. 運用利回りの推移

令和7年度上半期の運用利回りは1.82%（対前年同期比+1.41pt）となりました。

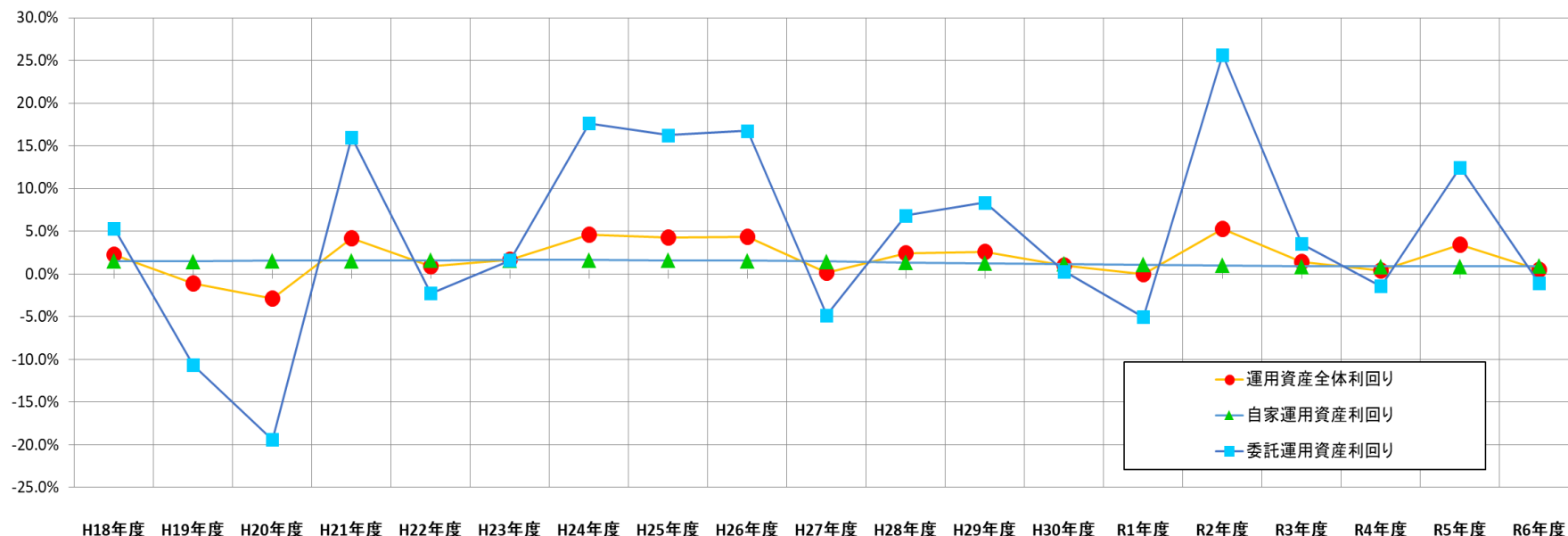
	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 (4～9月期間率)				5力年の平均 (R2～R6年度)		10力年の平均 (H27～R6年度)	
	運用損益額 (億円)	運用利回り	運用損益額 (億円)	運用利回り	運用損益額 (億円)	運用利回り	運用損益額 (億円)	運用利回り	運用損益額 (億円)	運用利回り	運用損益額 (億円)		運用利回り		運用損益額 (億円)	運用利回り (単純平均)	運用損益額 (億円)	運用利回り (単純平均)
運用資産全体	5,227	5.26%	1,494	1.40%	403	0.36%	3,888	3.44%	516	0.43%	2,186	1,708	1.82%	1.41pt	2,306	2.18%	1,702	1.69%
自家運用資産	821	1.00%	768	0.89%	740	0.85%	747	0.85%	832	0.92%	440	44	0.48%	0.04pt	782	0.90%	854	1.07%
委託運用資産	4,406	25.65%	726	3.53%	▲ 337	▲1.43%	3,141	12.48%	▲ 315	▲1.11%	1,745	1,664	6.23%	5.95pt	1,524	7.82%	847	4.47%

(注1) 自家運用資産の運用損益額、及び運用利回りは、生命保険資産に係る付加保険料（費用科目、概算算出値）を控除したもの。

(注2) 委託運用資産の運用損益額は信託報酬控除後。委託運用資産の運用利回りは、信託運用益（信託報酬控除後）／帳簿上の簿価平残で算出。

(注3) 運用資産全体の運用利回りを算出する際に用いる委託運用資産の運用利回りは、信託運用益（信託報酬控除後）／帳簿上の簿価平残で算出。

小規模企業共済資産の運用利回りの推移（令和6年度末まで）



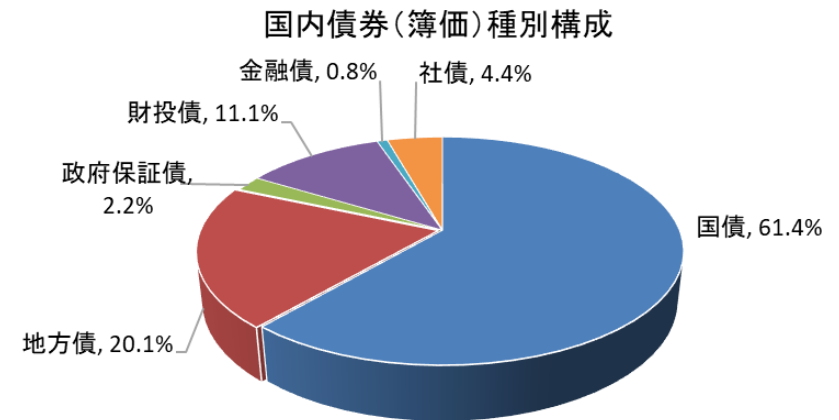
【各運用資産】

3. 自家運用資産

共済金等の支払いを将来にわたり確実にを行うための資金を確保するため、運用資産の約8割を**自家運用資産**として**国内債券(簿価)**、**融資経理貸付金**、**生命保険資産**、**短期資産**にて合計**9兆1,668億円**（対前年度末比+425億円）を運用しております。

国内債券（簿価）

- 国内債券（簿価）取得の、基本的な考え方は以下のとおりです。
 - ・満期保有目的（債券の償還まで保有）として取得。
 - ・元本償還・利金収入が確実にされる格付けの高い銘柄（国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、社債）を取得。
- **令和7年度上半期末資産額：8兆6,036億円（対前年度末比+787億円）**
加重平均利回り：0.98%



令和7年9月30日現在＜償却原価加味ベース＞

（金額単位：億円）

	国債	地方債	政府保証債	財投債	金融債	社債	計
簿価	52,805	17,295	1,866	9,565	712	3,792	86,036
構成比	61.4%	20.1%	2.2%	11.1%	0.8%	4.4%	100.0%

（注）満期保有目的債券のため、簿価評価となっております。金利上昇局面では含み損が生じますが、債券は満期まで保有すると額面金額で償還（含み損も解消）するため、中途売却等で含み損が顕在化しないよう流動性に留意して運用しております。なお、低金利環境が長期化しても一定の利回りを確保できるという利点もあるため、キャッシュフローや適切な利回り確保等を考慮しながら、運用を行っております。

【各運用資産】

4. 委託運用資産（1）

運用資産の約2割を運用受託機関に委託し、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、為替ヘッジ付外国債券で合計2兆9,678億円（対前年度末比+1,726億円）を運用しています。

対ベンチマーク超過収益率（令和7年度上半期）

(金額単位: 百万円)

資産区分	ファンド				ベンチマーク 収益率	超過収益率
	年度収益	時価平残	構成比	収益率		
国内株式	76,101	424,780	14.9%	19.40%	19.39%	0.00%
国内債券	▲ 18,127	1,160,911	40.6%	▲ 1.55%	▲ 1.59%	0.04%
外国株式	109,337	656,898	23.0%	17.67%	18.83%	▲ 1.16%
外国債券	4,386	96,419	3.4%	4.62%	4.48%	0.14%
ヘッジ外債	897	516,773	18.1%	▲ 0.10%	0.39%	▲ 0.49%
合計	174,515	2,860,173	100.0%	6.24%	6.15%	(注) 0.09%

(注) 合計の超過収益率には資産配分効果も含む

➤ 令和7年度上半期の中小機構委託ファンドの収益率は+6.24%で、ベンチマーク収益率(※)は+6.15%であったため、超過収益率は+0.09%となりました。

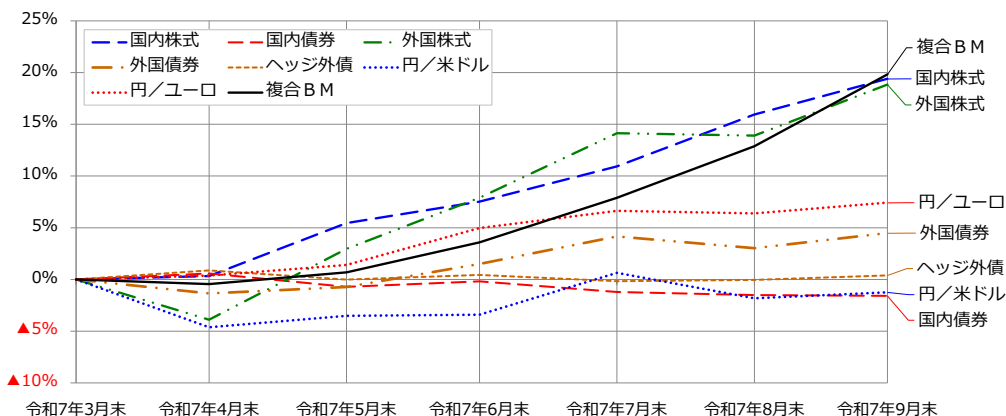
【ベンチマーク収益率（市場平均収益率）】

➤ 国内市場は、米国の関税政策に対する不透明感の後退や米国の利下げ期待などにより国内株式の収益率はプラス、国内債券は日銀の利上げなどにより収益率はマイナスとなりました。

➤ 海外市場は、米国や欧州の中央銀行の利下げ実施などにより、外国株式、外国債券及び為替ヘッジ付外国債券の収益率はプラスとなりました。

市場環境(令和7年度上半期)

令和7年3月31日を100として指数化



【超過収益率(ファンドがベンチマークをどれだけ上回ったか)】

➤ 外国株式の一部アクティブファンドにおいて、パフォーマンスが不芳だったこと等によりマイナスとなりましたが、資産配分効果のプラスもあり、全体では若干のプラスとなりました。

※小規模企業共済で採用している各資産のベンチマークは、以下のとおりです。

- ・国内株式：TOPIX（配当込み）
- ・国内債券：NOMURA-BPI総合
- ・外国株式：MSCI-ACWI ex Japan（円換算・配当込み・GROSS）
- ・外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、除く中国、円換算）
- ・ヘッジ外債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、除く中国、ヘッジ後、円換算）

【各運用資産】

4. 委託運用資産（2）

運用中ファンド一覧

アクティブ運用			パッシブ運用			金額合計
運用機関	マネジャー ^(注1) ベンチマーク	時価 ^(注2)	運用機関	マネジャー ^(注1) ベンチマーク	時価 ^(注2)	
国内株式		717			3,920	4,637
1	野村アセットマネジメント	717	9	りそな銀行	2,165	
			(16)	みずほ信託銀行(注3)	1,755	
国内債券		0			11,929	11,929
			10	三井住友信託銀行	8,460	
			(16)	みずほ信託銀行(注3)	3,470	
外国株式		1,424			5,552	6,975
2	モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント	282	11	三井住友信託銀行【KOKUSAI】	1,500	
3	PGIMジャパン	276	12	三菱UFJ信託銀行【KOKUSAI】	1,596	
4	三井住友信託銀行【KOKUSAI】	527	13	みずほ信託銀行【EM】	717	
5	野村アセットマネジメント【KOKUSAI】	335	(16)	みずほ信託銀行(注3)【KOKUSAI】	1,738	
外国債券		247			750	997
6	アセットマネジメントOne	247	14	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	750	
ヘッジ外債		623			4,517	5,140
7	ピムコジャパンリミテッド	436	15	三菱UFJ信託銀行	1,532	
8	ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ	187	(16)	みずほ信託銀行(注3)	2,985	
短資等		0			59	59
			(16)	みずほ信託銀行(注3)	59	
合計		3,011			26,727	29,737

(注1) 政策ベンチマーク以外のファンドのみマネジャーベンチマークを記載しております。

(注2) 時価は億円。令和7年9月末時点。

(注3) (16) はオーバーレイファンド。(国内株式・国内債券・外国株式・ヘッジ外債の4資産をパッシブで運用しており、リバランスの役割を担っております。)

(注4) 令和7年9月末時点で運用中のファンドを記載しており、解約・運用停止したファンドは含んでおりません。



Be a Great Small.

中小機構